



平成 24 年 8 月 10 日

各 位

東京都目黒区青葉台三丁目 6 番 16 号
株式会社ジェクシード

(URL <http://www.gexeed.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 細井 一雄
(コード番号: 3719)

問合せ先 管理本部マネージャー 齋藤 稔
電話番号: 03-5456-3051

平成 24 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年2月17日に公表いたしました平成24年12月期第2四半期累計期間（平成24年1月1日～平成24年6月30日）の業績予想との差異、及び平成24年12月期通期業績予想を最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績との差異（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日） (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,080	24	20	57	6 円 30 銭
今回実績値 (B)	852	△140	△149	△106	△11 円 78 銭
増減額 (B-A)	△228	△165	△169	△163	—
増減率 (%)	△21.2	—	—	—	—
(ご参考)					
前期第 2 四半期実績	777	△50	△53	△34	△3 円 79 銭

2. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期個別累計期間の業績との差異（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日） (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	540	△3	△2	32	3 円 57 銭
今回実績値 (B)	497	△74	△76	△117	△12 円 99 銭
増減額 (B-A)	△42	△70	△73	△149	—
増減率 (%)	△7.9	—	—	—	—
(ご参考)					
前期第 2 四半期実績	57	△44	△42	△26	△2 円 94 銭

3. 第 2 四半期累計期間業績予想との差異理由

東日本大震災の影響、欧州の金融危機や円高の影響等による先行きの不透明感を受け、当社の主要事業であるコンサルティング事業においても、顧客の設備投資見合わせ、予算凍結等により、受注の縮小圧力の影響を受けております。こうした中、案件の縮小を防ぎ、受注及び売上を確保する対策として、プロジェクトの範囲拡大等を行ってまいりましたが、大型化した一部のプロジェクトにおいて当初計画を大幅に上回る外注費用が発生したことにより、営業利益が圧迫される結果となりました。

また、リスク管理及び情報活用に係るシステムのコンサルティングサービスにおいて、第 2 四半期連結累計期間に想定しておりました受注の確定に遅れが生じ、売上高、営業利益の確保に影響が出ております。

グループ全体での業務の効率化・合理化により一定のコスト削減を実現しておりますが、売上の減少と外注費用の増加の影響を全て回復するには至らず、連結売上高 8 億 52 百万円（前回予想比 2 億 28 百万円減）、連結営業損失 1 億 40 百万円（前回予想比 1 億 65 百万円減）となりました。当該営業損失の拡大を受け、連結経常損失 1 億 49 百万円（前回予想比 1 億 69 百万円減）、連結四半期純損失 1 億 6 百万円（前回予想比 1 億 63 百万円減）と、連結業績予想を下回ることとなりました。

個別業績におきましても、当社による当社連結子会社の吸収合併以降、前述の連結決算同様に売上高及び営業利益への影響があり、売上高 4 億 97 百万円（前回予想比 42 百万円減）営業損失 74 百万円（前回予想比 70 百万円減）、経常損失 76 百万円（前回予想比 73 百万円減）となりました。四半期純利益については、平成 24 年 5 月 14 日付け「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」においてお知らせしております当社の子会社株式の再評価による特別損失の影響を受け、四半期純損失 1 億 17 百万円（前回予想比 1 億 49 百万円減）となりました。

4. 平成 24 年 12 月期通期連結業績予想の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,260	91	83	122	13 円 56 銭
今回発表予想 (B)	1,957	△39	△54	△1	△0 円 16 銭
増減額 (B-A)	△303	△130	△138	△124	—
増減率 (%)	△13.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 12 月期通期)	1,786	△75	△86	△69	△7 円 72 銭

5. 平成 24 年 12 月期通期個別業績予想の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,550	42	41	76	8 円 43 銭
今回発表予想 (B)	1,486	16	13	△13	△1 円 52 銭
増減額 (B-A)	△64	△25	△28	△90	—
増減率 (%)	△4.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 12 月期通期)	117	△79	△73	△154	△17 円 11 銭

6. 通期業績予想の修正理由

コンサルティング事業における需要の縮小傾向は徐々に回復の兆しを見せておりますが、急回復とはならず、依然として厳しい状況が続くと予想されます。当連結会計年度第 3 四半期以降は、連結子会社の吸収合併等のグループ全体の財政基盤の再編と業務の効率化及び合理化による事業基盤の強化とコストの正常化が着実に進捗すると考えており、当初計画に沿った業績を維持することが可能であると想定しておりますが、第 2 四半期連結累計期間における赤字業績の全面的な回復は残念ながら困難であると考えられます。当然にして、組織・事業の構造改革を積極的に推進し、早期の業績回復にグループ全体をあげて取り組んでおりますが、現時点での業績等を総合的に鑑み、上記の通り平成 24 年 12 月期（通期）の業績予想を修正いたします。

連結売上高については、第 2 四半期までの実績及び経済環境の影響を踏まえた今後の売上見込みに基づき 19 億 57 百万円（前回予想比 3 億 3 百万円減）、連結営業損失については 39 百万円（前回予想比 1 億 30 百万円減）、連結経常損失は 54 百万円（前回予想比 1 億 38 百万円減）、連結当期純損失は 1 百万円（前回予想比 1 億 24 百万円減）を見込んでおります。

個別業績予想につきましても、前述の連結通期業績予想と同様の想定により、売上高 14 億 86 百万円（前回予想比 64 百万円減）、営業利益 16 百万円（前回予想比 25 百万円減）、経常利益 13 百万円（前回予想比 28 百万円減）を予想しております。なお、当期利益につきましては、子会社株式の再評価による特別損失の影響が大きく、当社が有価証券を保有する清算会社からの残余財産の分配による特別利益を折り込むものの、当期純損失 13 百万円（前回予想比 90 百万円減）に止まるものと予想しております。

なお、上記平成 24 年 12 月期通期連結業績予想及び個別業績予想に関しましては、本資料発表において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上